学校番号	１００１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1	第３学年	NEW ONE WORLD Communication I Reveised Edition (教育出版) / 英単語 Stock 3000（文英堂）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、本文の内容を踏まえたペアワーク・グループワークや発表の活動を行い、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、授業中だけでなく自宅学習などの予習・復習を行って、自分の分からないところを明確にして授業に臨んでください。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して、聞いている人にきちんと伝えることができるようになる学習を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「(学)英文法基礎」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、副読本、それらの内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 ・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	コミュ英Ⅰ インタビューテスト プレゼンテーション (学)英文法基礎 プレゼンテーション	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、趣味や好き嫌いについて箇条書きで複数の文を書くことができる。	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査 (学)英文法基礎 ライティングテスト 定期考査	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことについて聞き取ることができる。 ・趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきり話されれば理解することができる。	コミュ英Ⅰ リスニングテスト インタビューテスト	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を、挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・ポスターやカタログなどの見慣れた名前、単語、単純な文を理解できる。	コミュ英Ⅰ 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	課題への取組み状況の確認。 確認テストの取組み状況評価。 問いかけに対して答えようとする意欲の評価。 活動に取り組む姿勢の観察。 NET と積極的に関わる意欲の観察。	文法事項・語彙を実際に活用できるかの確認。 定期考査や作文での自己表現の評価。	定期考査や小テストで語彙や文法事項の理解を確認。 リスニングテスト・インタビューテストでの内容理解の評価。	教科書内容を基にした自己表現活動での評価。 定期考査での確認。 NET との関わりや授業での活動を通した文化理解の確認。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (10 時間)	世界の様々な地域や、様々な場面での英語使用の実態に触れ、英語を学ぶ意義を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークを通して、互いに助け合いながら英語でやり取りする	・英語を学ぶ意義について考え、相手に自らの考えを伝える。	・ペア・ワークへの積極的な関わり ・自分の考えをまとめる力	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文内容を口頭で要約する。 ・自己紹介をする。	・各パートの内容を口頭で要約する。 ・メモに基づいて、自己紹介を行う。	・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分自身について自己紹介をする。	・tt の授業時間を利用してインタビューテストを実施する。 ・小作文を書く。 ・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		・世界の様々な地域や様々な場面での英語使用の実態について読んだことを理解する。	・Summary Chart を利用して、パートごとに概要を把握する。	・世界の様々な地域や様々な場面での英語使用の実態について読んだことを理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・基本的な英語の文構造について理解する。 ・動詞の時制について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・基本的な英語の文構造について理解している。 ・動詞の時制について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (10 時間)	日本人の食生活に触れるとともに、世界や日本におけるパンの歴史について理解を深める	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・食生活について、主にパンについて、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各パートを読む前に、パンについて知っている情報や、自身の食生活について、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・パンについて知っている情報や、自身の食生活について、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた海外のパンやパンの歴史について、適切に書く。	・パートごとに、興味をひかれた内容について、ワークシートに英語で書く。	・パンについて興味をひかれたことを適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本人の食生活や世界や日本のパンの歴史、海外のパンについて読んだことを理解する。	・パートごとに、関連した画像などを見ながら、食生活やパンの歴史について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・日本人の食生活や世界や日本でのパンの歴史について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較表現、受動態の使い方を理解する。 ・基本的な英語の文構造について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較表現、受動態の使い方を理解している。 ・基本的な文構造について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (10 時間)	ネコの生態に触れながら、ネコの持つ様々な特徴について理解を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・動物の生態について知っていることを間違うことを恐れず積極的に話す。	・ネコの生態だけでなく、他の動物について知り得る情報について対話を通した情報交換をする。	・動物の生態について知っていることを間違うことを恐れず積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・ネコの生態についての説明を読み、その内容について、写真やグラフを見せながら、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、パートごとに動物の睡眠の特性について、簡潔な説明文を書く。	・ネコの生態についての説明を読み、その内容について、写真やグラフを見せながら、簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ネコの生態についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、関連した画像などを見ながら、ネコの生態とその特性について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・ネコの生態についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞の使い方を理解する。 ・分詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞の使い方を理解している。 ・分詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 (10 時間)	日本のアニメについて触れ、アニメの歴史や影響力について理解を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・好きなアニメについて、間違うことを恐れず積極的に話す。 ・相手に質問をすることで、相手の考えをより聞き出す。	・自分が好きなアニメについてワークシートを利用した対話を通して自分の考えをより深くまとめる。	・好きなアニメについて、間違うことを恐れず積極的に話している。 ・相手に質問をすることで、相手の考えをより聞き出すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・好きなアニメについて、現在完了形・過去完了形の表現また比較表現を用いて説明する。	・ワークシートを用いて、自分が好きなアニメについて説明する文章を書く。	・好きなアニメについて、現在完了形・過去完了形の表現また比較表現を用いて説明している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本のアニメの海外での影響についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、関連した画像などを見ながら、日本のアニメの歴史や海外での影響について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・日本のアニメの海外での影響についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形・過去完了形の使い方を理解する。 ・最上級を用いた比較表現の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了形および過去完了形の使い方を理解している。 ・最上級を用いた比較表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (10 時間)	様々なユニークなイベントについて触れながら、その成り立ちや考え方について考察する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。 ・相手から情報を引き出すために質問する。	・ワークシートを利用して、パートごとに取り上げられているイベントについて関係代名詞を用いた対話をペア・ワークで行う。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。 ・相手から情報を引き出すために質問している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・様々なイベントについての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、パートごとに書かれているイベントについて、簡潔な要約文を書く。	・様々なイベントについての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書いている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・様々なイベントについての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、関連した画像などをみながら、様々なユニークなイベントとその趣旨について読み、内容を理解する。	・様々なイベントについての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・形式主語の it（It is 形容詞 for ~that…）の使い方を理解する。 ・主格の関係代名詞 who の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・形式主語の it（It is 形容詞 for ~that…）の使い方を理解している。 ・主格の関係代名詞 who の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 (10 時間)	苦しんでいる人々に対する援助の方法を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・パートごとに、本文の音声と内容に関連したリスニング問題を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・援助の方法について考え、簡潔にまとめてスピーチとして発表する。	・ワークシートを利用して、援助について考えるとともに、援助の方法について考え意見をまとめ、スピーチとして発表する。	・援助の方法について考え、簡潔にまとめてスピーチしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・スピーチとして発表させ、その内容を判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・苦しんでいる人々に対する援助の方法についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、関連した画像などをみながら、苦しんでいる人々への援助について読み、内容を理解する。	・苦しんでいる人々に対する援助の方法についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVO（疑問詞節）の使い方を理解する。 ・疑問詞＋to 不定詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・SVO（疑問詞節）の使い方を理解している。 ・疑問詞＋to 不定詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (10 時間)	身の周りに存在している科学について知り、	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・パートごとに、本文の音声と内容に関連したリスニング問題を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・身の周りにある科学についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、パートごと内容の要約を書き、課の終了時に全体の要約を書く。	・身の周りにある科学についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書いている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・身の周りにある科学についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、身の周りにある科学について読み、その内容を理解する。	・身の周りにある科学についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・形式主語を用いた、不定詞<It is ~(for)…+to 不定詞>と接続詞 that<It is ~ that…>の使い方を理解する。 ・SVOC（現在分詞・原形不定詞）の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・形式主語を用いた、不定詞<It is ~(for)…+to 不定詞>と接続詞 that<It is ~ that…>の使い方を理解している。 ・原形不定詞(SVOC)の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 (10 時間)	ベートーベン交響曲「第九」の歴史について触れ、どのような状況下で演奏されたのかを適切に理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・パートごとに、本文の音声と内容に関連したリスニング問題を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・「第九」についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、パートごとに内容の要約を書き、課の終了時に全体の要約を書く。	・「第九」についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書いている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・「第九」についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、「第九」について読み、その内容を理解する。	・「第九」についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉えている。	・定期考査の筆記テストにおいて、事実と考えを区別して読み取れているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞 where /when の使い方を理解する。 ・現在分詞(SVOC)の使い方を理解する。	・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・関係副詞の使い方を理解している。 ・現在分詞(SVOC)の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (10 時間)	オリンピックの歴史や理念を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・パートごとに、本文の音声と内容に関連したリスニング問題を聞き、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・オリンピックについての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを用いて、パートごとに内容の要約を書き、課の終了時に全体の要約を書く。	・オリンピックの歴史や理念についての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書く。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・オリンピックの歴史や理念についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、走り高跳びの背面跳びについて読み、その内容を理解する。	・オリンピックの歴史や理念についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了進行形の使い方を理解する。 ・分詞構文の使い方を理解する。 ・現在完了形の受け身の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了進行形の使い方を理解している。 ・分詞構文の使い方を理解している。 ・現在完了形の受け身の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 10 (10 時間)	グローバル化ついて触れ、よりよいグローバル化のために高校生に何ができるのかを考える	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グローバル化について、間違うことを恐れず積極的に話す。 ・相手に質問をすることで、相手の考えをより聞き出す。	・グローバル化について、ワークシートを利用した対話を通して自分の考えをより深くまとめる。	・グローバル化について、間違うことを恐れず積極的に話している。 ・相手に質問をすることで、相手の考えをより聞き出すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・グローバル化についての説明を読み、本文内容および友人との対話を踏まえて、自分に何が出来るのかを考えてまとめ、発表する。	・ワークシートを用いて、パートごとに内容の要約を書き、課の終了時に環境問題に対する自分の考えをまとめて書き発表する。	・グローバル化についての説明を読み、本文内容および友人との対話を踏まえて、自分に何が出来るのかを考えてまとめ、発表している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・グローバル化に対する考えを発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・グローバル化についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉える。	・パートごとに、グローバル化について読み、その内容を理解する。	・グローバル化についての説明を読んで、情報の概要や要点を捉えている。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・that 節(SVOO)の使い方を理解する。 ・仮定法過去の使い方を理解する。	・本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景をワークシートにメモを取りながら理解する。	・that 節(SVOO)の使い方を理解している。 ・仮定法過去の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。